



後藤里瑠君とメッセージを読む母・奈津江さん

## 福祉パレード隊が役場を訪問

第46回利根沼田地区福祉パレードが9月11日に実施されました。このパレードは、知的障害者福祉月間である9月に毎年実施されており、今年は「共に生きる



出迎えた堤村長ら

未来を目指して」をスローガンに行われました。この日は、特別支援学校中学部2年生の後藤里瑠君を含むパレード隊が役場を訪問。

里瑠君の母・奈津江さんは、「年々、障害を持った子どもたちを取り巻く環境は改善されつつありますが、まだ十分とはいえない状況です。健常者だけでなく、障害を持った我が子どもたちも、共に楽しく安心して暮らせる社会になりますように」とメッセージを読み上げました。

## らくらく筋トレ大会を開催

らくらく筋トレ大会が10月5日、村公民館多目的ホールで開催されました。

この大会は、健康づくりと仲間づくりを目的に、村が取り組んでいる介護予防事業の一環として行われたもの。大会には、村内各地区でらくらく筋トレ体操に取り組んでいるおよそ60人が参加。

はじめに、介護予防サポーター上級認定式が行われ、3人に堤村長から認定証が手渡されました。認定式の後は「らくらく筋トレ体操」を考案した首都大学

東京の浅川康吉教授やすよしによる、らくらく筋トレ体操ポイント講座が行われたほか、希望者は体力測定にも参加。年齢に問わず自分の楽しみを続けられる筋力を保つための、日々の取り組みの大切さを確認していました。

大会に参加した、木村せつさん（赤城原第一）は、「浅川先生に毎年来ていただき、日頃の筋トレ体操を再確認するいい機会になっています。今後多くの人に出席してほしいです」と話していました。



解説を受けながら体操をする参加者

## 長寿祝い

### 敬老祝金を配付

村では、村内の80歳以上のお年寄り715人の長寿を祝い、地域の民生委員を通じて敬老祝金を贈りました。

また、95歳以上のお年寄り50人には9月13日、堤村長、小林副村長がそれぞれ自宅などを訪問。直接、敬老祝金を手渡しました。

今年で95歳を迎えられた青木富子さん（椽久保南部）にも、堤村長から敬老祝金が手渡されました。青木さんは、「ゲートボールをしたり、好き嫌いせずよく食べることが元気の秘訣」と笑顔で話していました。



青木富子さん（椽久保南部）



# 川額・森下で恒例の豊年まつり開催

一年の五穀豊じょうを祈願する、毎年恒例の「豊年まつり（諏訪祭）」が川額、森下地区で行われました。これは、江戸時代から始まった歴史あるまつりで、養蚕の神とされる諏訪大明神がまつられています。

川額地区では9月28日と29日に川額・八幡宮で開催されました。2日目の29日はあいにくの雨となりましたが、祭りの盛り上がりが高潮に達し、八木節が披露される中、川額上（藤井・宮貝戸）と川額下（根岸・伏田）の中学生による2基の



勢揃いしたまんどう（森下地区）



激しくつかっけ合うまんどう（川額地区）

まんどうが堂々と入場。七回めぐりが始まると、境内をまわりながらまんどうを激しくつかっけ（ぶつけ）あいました。また、森下地区では台風のため10月1日のみの開催となりましたが、森下・大森神社では大勢の見物客が訪れた中行われました。森下でも青年団らによる伝統の八木節の舞いが披露される中、森上・中・下の3基のまんどうが威勢よく入場。迫力ある七回めぐりを披露しました。まんどうが勢いよくつかっけあう度に見物客から歓声が上がっていました。



まつりを盛り上げた八木節（森下地区）



揃いの傘で八木節を披露（川額地区）



講演を熱心に聞く参加者

当日は、群馬県社会福祉協議会の中越信一氏による約1時間半の講演があり、参加した福祉関係者等約60人が講師の話に熱心に耳を傾けていました。

## 地域づくり講演会を

開催

村生活支援体制整備事業協議会（布施廣一会長）と村社会福祉協議会（金子松二郎会長）は9月21日（金）、村公民館で平成30年度地域づくり講演会を開催しました。この講演会は、広く生活支援体制整備事業の周知を図るとともに、今後の地域の地域福祉のあり方をみんなで考える機会を設けるために開催されたもの。